

## 株式会社オプトラン

### 2023年12月期第2四半期決算説明会(機関投資家・アナリスト向け)QA サマリー

Q: 2023年下期の受注の見通しは？

A: スマートフォン関連の受注について、硬質膜を中心として高機能化ニーズや、地政学リスク軽減を目的とした顧客の生産拠点分散化に伴う新たな受注等、装置の需要は見えている。需要の一部は2023年下期の受注獲得に向け、顧客との商談を進めている段階。

また、車載関連の受注についてはダッシュボードやヘッドアップディスプレイ、センサー関連装置の需要は今後強いとみている。

Q: 電子デバイス関連受注の詳細は？

A: リチウム電池関連で受注を獲得した。

パワーデバイスについては現在、研究開発中。引き続き顧客ニーズに合わせ研究開発を行っていく。

Q: 2023年第1四半期に受注獲得したスマートフォン向け硬質膜の継続性は？

A: 今回受注獲得した装置が市場で認められれば、1社だけではなく、他社からも受注を獲得できる可能性がある。

Q: ナノリソティックス(株)の市場見通しは？ 営業体制は？

A: 当社は成膜・エッチングの技術はあったが、パターニングの技術が無かった。パターニング技術が無いとAR/VR用の導波路や精密光学デバイス製造に必要なトータルなソリューション提供につながらない。

AIメカテック(株)が位置合わせ、パターニングの技術を持っている。合併会社を設立することで一体的ソリューション提供が可能となり、開発のスピードを早めることが可能となった。

営業体制は当社とAIメカテック(株)両社で顧客にアプローチしていく。両社の強みに合わせて営業活動を行っていく。中長期的には営業体制・生産体制を独立させる予定。3年程度は両親会社がサポートしていく。

Q: 2023年2Qの業績は年初の見通しと比較してどうだったか？

また、今回、年初計画を据え置いているのはなぜか？

A: 2023年上半期の売上は、若干為替の要因で上振れているものの、年初計画通り進捗しており、2023年下半年期についても年初計画を据え置いている。

粗利について、2023年下半年期はALD装置の売上が70億円程度計上される見通しであることから利益率への貢献は引き続き大きいと想定されるが、他の製品ミックスの影響も受けるため、年初計画の水準を想定している。

2023年上半期の販管費は年初計画通り進捗している。下半期の研究開発費は上半期と同水準を維持し、その他販管費は年末にかけて増える傾向にあるため、上半期より若干増える想定としている。

Q: 今後のALD装置の受注は？

A: 2022年と同じ用途の装置ニーズは一服感があるが、市場ではAR/VR向けや、Micro LEDやMicro OLEDなどでのディスプレイ向けの新たなニーズ期待でき、顧客と具体的な話も進めている。

以上